



DYFLEX

# 建築・土木用 軟質形低粘度形注入エポキシ樹脂

・総プロ(土木補修用エポキシ樹脂注入材)3種相当品 ・NEXCO(ひび割れ注入材)3種相当品

EverBond® EP-301

JIS A 6024:2015 相当品 (建築補修及び建築補強用エポキシ樹脂)

エバーボンド EP-301 : JAIA-008750 F☆☆☆☆/JAIA-503733 4VOC 基準適合

【☆主剤3kg+硬化剤2kg=5kgセット】

注入補修用・充填接着用軟質形 低粘度形エポキシ樹脂

## エバーボンド® EP-301

エバーボンド® EP-301は、軟質形低粘度タイプの注入用エポキシ樹脂です。

コンクリート構造物の挙動があるひび割れ、モルタルやタイルの浮き等の注入・充填接着に適しています。ひび割れ注入は、自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 (SK グラウトプラグ A 工法) により微細なひび割れに対し優れた注入性と追従性と接着性が期待できます。



建築構造物 新設 腰壁



土木構造物 改修 トンネル内壁

### エバーボンド® EP-301 の特長

- 作業性が良い — 低粘度で混合性・注入性に優れています。
- 追従性が良い — 材料の伸びがある為、動きに追従します。
- 接着性が良い — 接着力が強く、ひび割れ部への注入により、構造物を一体化します。
- 収縮が小さい — 硬化時や経時による収縮が殆どありませんので、充填後の肌分かれなどを起こしません。

### エバーボンド® EP-301 の用途

- 挙動するコンクリート構造物のひび割れの隙間やモルタル等の浮き部の注入・充填接着
- 手摺埋設空洞部への注入・充填接着

# 建築・土木用 軟質形低粘度形注入エポキシ樹脂

・JIS A 6024:2015 ・総プロ (土木補修用エポキシ樹脂注入材) 3種 ・NEXCO (ひび割れ注入材) 3種相当品

## 性状

エパーボンド®EP-301		
項目	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	透明液体	褐色透明液体
混合比	主剤：硬化剤＝3：2 (重量比)	
混合比重	1.10 ± 0.1g/cm <sup>3</sup>	
可使用時間	50分 (23 ± 2℃ : 300g)	

## 物性データ《建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂》JIS A 6024:2015 注入エポキシ樹脂 (軟質) の品質に基づく試験

JIS A 6024:2015 品質項目		エパーボンド®EP-301	
試験項目	試験条件	試験結果	JIS 規格値
粘度 (mPa・s)	標準条件 A 23 ± 2℃	448	100 ~ 1,000
接着強さ A 法 (MPa)	標準条件 B 23 ± 2℃	9.7	3.0 以上
	低温条件 B 5 ± 1℃	9.9	1.5 以上
	湿潤条件	13.3	1.5 以上
	乾湿繰返し条件	8.5	1.5 以上
引張特性 B 法	標準条件 B 23 ± 2℃	9.9	1.0 以上
	低温条件 C 5 ± 1℃	11.8	1.0 以上
	加熱劣化条件 80 ± 3℃	28.5	1.0 以上
	標準条件 B 23 ± 2℃	136	50 以上
破断時伸び (%)	低温条件 C 5 ± 1℃	133	50 以上
	加熱劣化条件 80 ± 3℃	53	50 以上
硬化収縮率 (%)	標準条件 B 23 ± 2℃	1.3	3 以下
加熱減量 A 法	質量変化率 (%) 高温条件 B 110 ± 3℃	3.2	5 以下
	体積変化率 (%) 高温条件 B 110 ± 3℃	3.8	5 以下

## 物性データ 「コンクリートの耐久性向上技術の開発」(建設省総合技術開発プロジェクト) 注入材および充填材の品質規格 (土木補修用エポキシ樹脂注入材) 3種に基づく試験

「コンクリートの耐久性向上技術の開発」(総プロ) 3種		エパーボンド EP-301	
試験項目		試験結果	規格値
粘度 (cps)		780	1000 以下
可使用時間 (分)		90	30 以上
硬化時間 (時間)		20	24 以内
硬化収縮 (%)		0.03	0.1 以下
伸び率 (%)		120	100 以上
モルタル付着強さ (乾燥面) (kgf/cm <sup>2</sup> )		65	60 以上
付着耐久性保持率 (%)		93	60 以上

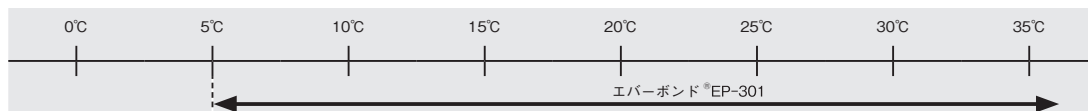
## 物性データ 「構造物施工管理要領」東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株) 表3-4-1 ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材の品質規格3種に基づく試験

NEXCO「構造物施工管理要領」ひび割れ注入材 (3種)			エパーボンド EP-301	
試験項目	単位		試験結果	規格値
未硬化の注入材	粘度 (×10 <sup>-3</sup> )	Pa・s	780	1000 以下
	可使用時間	min	50	30 以上
	収縮率	%	1.5	3.0 以下
硬化した注入材	伸び	%	120	100 以上
		モルタル付着強さ	乾燥面 N/mm <sup>2</sup>	6.5
		湿潤面 N/mm <sup>2</sup>	3.5	3 以上
	付着力耐久性保持率	%	93	60 以上

## 梱包容量

5kgセット (主剤:3kg、硬化剤:2kg) / ケース	低粘度形 (II-L-R) 一般用
-------------------------------	-------------------

## 材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のカタログ又はリーフレットの最新版に留意して下さい。カタログ又はリーフレットの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

## 株式会社 ダイフレックス

〒163-0825  
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル25F 私書箱第6086号  
TEL.03-5381-1555 FAX.03-5381-1566

東京支店 / TEL.03-5381-0231  
大阪支店 / TEL.06-6292-0511  
名古屋支店 / TEL.052-735-3991  
横浜支店 / TEL.045-290-9751  
札幌営業所 / TEL.011-804-8050  
仙台営業所 / TEL.022-207-5010  
新潟営業所 / TEL.025-365-3010

FAX.03-5381-0232  
FAX.06-6292-0522  
FAX.052-735-3992  
FAX.045-290-9755  
FAX.011-804-8061  
FAX.022-207-5011  
FAX.025-365-3011

金沢営業所 / TEL.076-290-7408  
さいたま営業所 / TEL.048-646-4870  
千葉営業所 / TEL.043-380-7981  
多摩営業所 / TEL.042-402-5200  
広島営業所 / TEL.082-668-6085  
福岡営業所 / TEL.092-432-9220

FAX.076-290-7410  
FAX.048-646-4871  
FAX.043-380-7982  
FAX.042-402-5201  
FAX.082-262-7212  
FAX.092-432-9221